

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察技術情報資料（第5号）の送付について

早期稲における斑点米カメムシ類（7月上、中旬）の発生調査結果

早期稲（穂孕期～穂揃期）の斑点米カメムシ類の発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考にしてください。

記

7月上、中旬に実施したすくい取り調査の結果、1ほ場当たりの平均発生虫数は、全般的には平年並でしたが、県東部は平年に比べ多発生、中央部はやや多発生で、発生密度の高いほ場もいくつか見られました。また、発生ほ場率は県東部では100%、西部では88%と高レベルでした。発生種は、アカスジカスミカメが県東部、中央部で平年に比べ多く、イネカメムシの発生も県下全域で多く見られました（表1、2）。

この先も高温多照と予想されていることから、普通期稲においてもカメムシ類の発生がやや多いと予想されますので、注意してください。出穂期以降にカメムシ類がわずかでも見られる場合、斑点米が発生することが予想されますので、防除適期である出穂の10日後頃及びその5～7日後に防除を行ってください。

また、ミナミアオカメムシは合成ピレスロイド剤の効果が劣るので、他系統の剤による防除を行ってください。

なお、防除にあたっては、農薬安全使用基準の遵守及び周辺の農作物への飛散防止対策について指導の徹底をお願いします。

表1 早期稲における斑点米カメムシ類の発生状況（令和3年度）

地域 (ほ場数)		ミナミアオ カメムシ	ホソハリ カメムシ	クモハリ カメムシ	トゲシラホ シカメムシ	アカスジ カスミカメ	その他	合計	発生 ほ場率
東部 (12)	本年	1.3	2.5	4.0	0.5	13.4	3.2	24.9	100%
	平年	1.4	2.3	3.2	0.3	3.7	1.6	12.5	87%
中央部 (37)	本年	0.2	1.1	3.2	0.1	3.4	2.9	10.9	70%
	平年	0.6	1.9	4.0	0.2	1.4	0.7	8.8	61%
中西部 (14)	本年	1.0	1.1	1.3	0.1	1.9	0.4	5.8	79%
	平年	0.8	2.5	3.8	0.8	3.9	0.7	12.5	79%
西部 (16)	本年	1.8	2.1	1.8	0.1	1.9	2.1	9.8	88%
	平年	0.4	1.9	2.9	0.1	2.0	1.1	8.4	78%
県内合計 (79)	本年	0.8	1.5	2.7	0.2	4.3	2.4	11.9	80%
	平年	0.7	2.0	3.5	0.3	2.3	0.9	9.7	71%

※数字は1ほ場あたりの成幼虫数（捕虫網50回振り）